

港区立御成門中学校
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	1年…全国平均と並ぶ値ではある。漢字の書き取りや文法問題といった苦手意識のある問題にも取り組めている。しかし、話すこと・聞くことの観点では少々課題が見受けられる。 2年…全体的に平均を上回る数値で安定している。課題としては書く力が弱い。分量もそうだが、文章の書き方を学ぶ必要がある。また、伝統的な文化に触れる領域、古典作品を読む力も併せて養いたい。 3年…平均値を保っている。課題としては聞き取る力、書く力がより必要である。
社会	1年…正答率が目標値、国や自治体平均を下回っていることから、全体的な理解が不十分と考えられる。特に日本の第一次産業に関する内容に課題がみられる。 2年…目標値とほぼ同程度であり、世界地理の理解は十分であるが、歴史的分野に課題がみられる。 3年…目標値を上回り概ね良好だが、地理的分野に課題がみられる。
数学	1年…平均・場合の数や、資料の活用など、「データの活用」の理解度に課題がみられる。 2年…小学校で学んだ計算や、平面図形の理解度に若干の課題がみられる。 3年…中学1年までに学んだ計算や、式の計算、連立方程式など、「数と式」の理解度に課題がみられる。
理科	1年…小学校で学んだ内容について、全体的に正答率が目標値を下回っており、知識の定着が十分でないと考えられる。 2年…動物の分類について、理解度に課題があると考えられる。 3年…観察・実験の技能についての理解度に課題があると考えられる。
外国語	2年…全体的に目標値や全国平均を上回っている一方、区平均を下回っている。特に語形、語法の知識、理解と場面に応じた英作文に課題が見られる。 3年…全体的に目標値や全国平均を上回っている一方、区平均を下回っている。特に語彙の知識、理解と場面に応じた英作文に課題が見られる。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	思考・判断・表現	改善プランとして、グループワークの前の段階を重視する。自分の意見をもつ、相手の考えを理解することを基礎として展開していく。自分の意見をタブレットに書き込む、相手の意見をタブレットに書き込んで、評価するといった作業を行う。また、副教材を用いて定期的に聞き取り問題にも取り組ませ、要点を捉える力を身に付けさせる。 古典作品を音読する工夫として群読を行う。複数で読むことにより比較したり、修正して表現する力が養われる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	知識及び技能	・基礎基本の確実な理解と、地図や統計、史料等を読み取る技能の確実な定着を図る。 ・ICT活用を進めるようになってから、スコアが下がっている傾向が認められるので、ICT活用の効果、授業方法・形態の検証等も必要であると考え。

数 学	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	知識及び技能	・計算方法や用語など、既習事項の確認を意識的に行う。 ・既習内容の計算技能を高める。 （授業導入時の計算ドリル、定期テストへの出題など）

理 科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	知識及び技能	・実験を行う中で、様々な器具の特徴を踏まえたうえでの利用上の注意をしっかりと行い、理解・定着ができるようにする。 ・身近な自然現象と知識関連付けて考えることができるように、様々な事象・現象について考える機会を設ける。

音 楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	知識及び技能	個別的・断片的な知識の理解にとどまらず、概念的な理解に至るような指導を目指す。指導方法としては、自分の考えを発表し合う場面、自分の言葉で説明する場面、よさや面白さなどを伝え合う場面を、題材中に意図的・計画的に設定する。加えて、ペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮する。

美 術	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	知識及び技能	基礎を中心とした知識を学び、形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解できるようにする。 自分のあらわしたいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわせる教材の工夫をする。

保 健 体 育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	主体的に学習に取り組む態度	男女共修授業を通して協力・責任・参画・共生の育成を図る。自分の考えを伝える場面、自分の言葉で説明する場面をペア活動やグループ活動で設定する。タブレットの動画撮影を通して、自分や仲間の動きを見ることで動きの改善につなげやすくする。

技 術 ・ 家 庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	知識及び技能 思考力・判断力	生活と技術についての基礎的な理解を図り、生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想することで、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けた工夫や創造をするための実践的な態度を養う。

外国語(英語・国際)	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○知識や語彙の定着 ○知識や語彙を活用する能力	○スペリングテストを実施し、語彙力を身に付けさせる。 ○単元評価プリントなどで復習を繰り返し、定着した知識を活用できるようにする。 ○少人数習熟度別授業や ICT 機器の特性を生かし、生徒の理解の差を小さくする。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める。	時節にあった題材を用い、生徒の気持ちに寄り添った共感的な授業になるよう課題設定を行う。意見共有の場を増やし方法を工夫することで、クラスメイトの意見を受容し、認め合える気持ちを持てる機会の設定を行う。学年教員が全クラスの道徳授業を担当することで多種多様な考え方や価値観を共有する機会を増やす。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他所と協働する行動の仕方を身に付け、人間関係の課題を見だし合意形成を図り、自己実現を図ろうとする態度を養う。	生徒相互の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方や資料等を手掛かりに考えたり話し合ったりすることを通して、自己の考え方を協働的に広げ深め、対話的な学びの実現を図る。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画する態度を養う。	実践的な活動を中心に生徒間の協働学習の推進を行う。調べ学習やその他活動においても各種 ICT 機器なども活用しながら他者の意見を参考にし、改善していけるよう指導の工夫を行う。活動がどのように社会に影響するかなど実際の社会につながる指導を織り交ぜることで興味喚起の強化を行う。